

診療計画を電子データで共有 クリニカルパス 普及考える

岐阜市で学会学術集会



クリニカルパス学会で講演する松波総合病院の
松波和寿病院長。岐阜市長良福光、長良川国際
会議場

第22回日本クリニカルパス学会学術集会が11日、岐阜市長良福光の長良川国際会議場などで始まった。全国の医療関係者ら約1300人が来場し、医師や看護師らが患者の診療計画を電子データなどで共有する「クリニカルパス」の導入や普及などについて考えた。12日まで。

第22回日本クリニカルパス学会学術集会が11日、岐阜市長良福光の長良川国際会議場などで始まった。全国の医療関係者ら約1300人が来場し、医師や看護師らが患者の診療計画を電子データなどで共有する「クリニカルパス」の導入や普及などについて考えた。12日まで。

クリニカルパスについて講演。「クリニカルパスはさまざまな職種が多様性を発揮し合うもので、まさにダイバーシティ。組織のパフォーマンス向上や結束力の強化に有効だ」と述べた。

会場には仮想現実(VR)技術が体験できるコーナーも設けられ、来場者がゴーグルを着けてダンスやスポーツなどVRの世界を楽しんだ。

(小田香緒里)